

成り立ちを学ぼう

光



「光」という字は、「火」と「人＝儿(じん)」を合わせたものです。

「儿」は、人を横から見たかたちで、ひざまずいている人のすがたです。

昔の人びとにとって、火は生きていく上でとても大切なものだったため、火を守って神様につかえる人がいました。

「光」は、そのような大切な火を、あつかう人を指しています。



漢字のまち

竹



職多方でみつけた

集



訪



漢字探検隊通信

2024年12月
第3号

冬休みが近づき、いつもよりえがおが多くみられるようになったこのごろ、カゼなどひかず、元気にすごしていますか？ 今月もたのしく漢字をまなびましょう！

わたしのすきな漢字

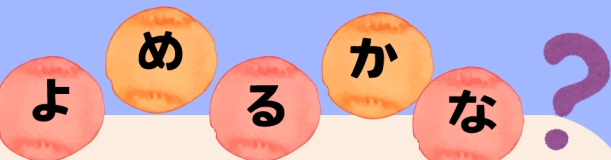
私の好きな漢字は「明」です。

「明」という字は、「日」と「月」が組み合わさってできています。

「日」は窓の形を表し、その窓から月の光が部屋に差し込む光景が、「明るい」という意味になったそうです。

その漢字を見ると、心にも光が差し込んだようにきらきらあたたかい気持ちになるので好きになりました。

京都府在住 Uさんより



こたえは下にあるよ

募集中です

漢字探検隊通信に応募しませんか？

漢字にかんする情報を募集しています。

※町で見つけた珍しい漢字(写真も添付してください)

※取り上げてほしい漢字などなど

メールにお名前、年齢を記載してください。

